

第45回福岡県損害保険防犯対策協議会総会を開催

～財務省・国土交通省・弁護士会・警察等と保険犯罪の根絶に向けた連携を確認～

福岡県損害保険防犯対策協議会(会長：千葉 岳央 三井住友海上火災保険株式会社 常務執行役員)は、12月4日(木)、来賓・顧問および会員等41名出席のもと、第45回定期総会を開催しました。開会に際し、同協議会 千葉会長から、ご来賓の皆様をはじめ多くの方々のご支援・ご協力により、永きにわたり防犯対策協議会活動を継続実施してくことができた旨の謝意が表明されたうえで「今後も、皆様方との連携により、複雑化・巧妙化している保険金等詐欺や不正請求の防止に向けた取組みを実施し、公平・公正な損害額算定および適正な保険金の支払いを行うことで、損害保険事業の適正な運営と健全な発展に努めていく。」との挨拶がありました。

続いて、福岡県警察本部 暴力団対策部 組織犯罪対策課 佐藤 治夫 課長からは、「近年、暴力団構成員の数が確実に減っており、排除活動の効果を感じる。一方で、犯罪は巧妙化しており、SNS等を使って匿名性を確保しつつ結びつき、犯罪ごとに離合集散を繰り返す匿名流動型犯罪グループ、いわゆるトクリュウの犯罪は、県民の安心・安全の新たな脅威となっている。トクリュウグループは暴力団関係者との密接な関係性も明らかになっており、この新たな治安課題に対して、より一層の対策を行っていく。」との挨拶をいただきました。また、財務省 福岡財務支局理財部金融監督第三課 桑原 恵美 課長、福岡県弁護士会 副会長 渡邊 洋祐弁護士からもご挨拶いただきました。協議会 宗像 希代 幹事からは、1年間の活動報告があり、「最近の保険犯罪では、保険金請求の際に請求者自らだけではなく、第三者である専門家が関与する架空・水増しの保険金不正請求や保険事故の偽装のほか、自然災害に便乗した悪徳業者やSNS上のやり取りをきっかけとした、いわゆる闇バイトと呼ばれる違法なアルバイトや副業を勧誘する手口により保険金詐欺に加担させられるケースなどが発生しており、注意喚起に努めていく。県警ならびに関係機関のご支援を仰ぎながら、損保業界一丸となり、お客様の信頼に応えるべく、不正・不当請求者の排除に向けた取組みを推進していく。」と報告いたしました。福岡県警察本部 暴力団対策部 組織犯罪対策課の 北条 浩 課長補佐からの特別講演では、「組織犯罪の情勢について」をテーマにご講演をいただき、最後に協議会 田島 章弘 幹事から、あらゆる暴力や不当不正請求を排除する旨の決意表明があり、その内容を出席者全員で唱和しました。

九州・沖縄支部では、福岡県警察本部や関係諸団体等と連携し、民事介入暴力対策および不当不正請求対策を進め、健全な損害保険事業の運営を通じた地域の安全・安心に貢献してまいります。

福岡県損害保険防犯対策協議会第45回定時総会 式次第

1. 主催者挨拶
福岡県損害保険防犯対策協議会 会長 千葉 岳央 (三井住友海上社)
2. 顧問団代表ご挨拶
福岡県警察本部暴力団対策部 組織犯罪対策課長 佐藤 治夫 様
3. 来賓ご挨拶
財務省福岡財務支局理財部 金融監督第三課長 桑原 恵美 様
- 福岡県弁護士会 副会長 渡邊 洋祐 様
4. 活動報告
福岡県損害保険防犯対策協議会 幹事 宗像 希代 (東京海上日動社)
5. 講演
福岡県警察本部暴力団対策部 組織犯罪対策課 課長補佐 北條 浩 様
6. 決意表明
福岡県損害保険防犯対策協議会 幹事 田島 章弘 (東京海上日動社)



千葉会長による主催者挨拶



佐藤課長による顧問団代表挨拶



北條課長補佐による講演